ALPS ALPINE
extends your senses

Press Release

2026 年 11 月 19 日
アルプスアルパイン株式会社

「触れずに操作」空中表示／入力デバイスが進化、韓国最大級の展示会 KES 2026 で受賞

-空中表示・非接触操作・加飾を融合、“押した感覚”も得られる次世代 HMI-

アルプスアルパイン株式会社（TOKYO：6770、代表取締役 社長 CEO：泉 英男、本社：東京都大田区、以下「アルプスアルパイン」）が開発する空中表示／入力デバイス、ステルス空中インターフェースが、韓国最大規模の電子・IT 展示会「KES 2026」の AX（AI Transformation）部門で Innovation Awards を受賞しました。ステルス空中インターフェースは、空中への映像表示、指の位置を検知する非接触センシング、加飾印刷を融合した次世代 HMI（Human Machine Interface）です。2022 年に世界初の空中表示／入力デバイスとして発表され、現在では厚さ 13mm の薄型タイプから大型・動画対応タイプ、空中触感を得られるタイプを拡充。利用シーンに合わせた多様な空中 HMI へ進化しています。



未来産業をけん引する革新技術として「Innovation Awards」を受賞

2026 年 10 月 13 日～16 日に韓国・ソウルで開催された「KES（Korea Electronics Show）2026」において、ステルス空中インターフェースが「Innovation Awards」を受賞しました。KES 公式の表彰制度である同賞は、未来産業をけん引する革新的な技術・製品を選出するものです。アルプスアルパインのステルス空中インターフェースは、デジタル技術を活用し、新たな価値や体験の創出につなげる AX（AI Transformation）部門に選出されました。

薄型化から動画、触感まで、空中 HMI の操作体験を拡張

2022 年の発表以降、ステルス空中インターフェースは、社会実装に向けて表示性能や操作性を高めるとともに、用途に応じた機能・形状の拡充を進めてきました。

・利用シーンに応じてカスタマイズできる、サイズや表示特性を拡充
従来品に対して筐体を約 3 分の 1 まで薄型化したタイプは、幅 143×奥行 57×厚さ 13mm で、限られたスペースにも搭載しやすく、スマートフォンなど身近な機器と連携した非接触操作への展開が可能です。一方、大きな映像の空中表示・操作にも対応する大型タイプも開発。利用人数や設置環境に応じて、表示サイズや浮遊距離、視野角などをカスタマイズでき、バリエーションを拡充しています。

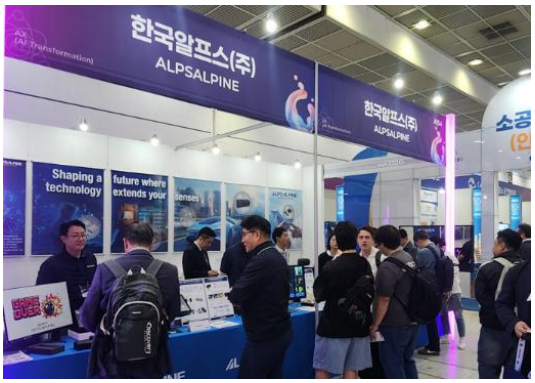
・可変表示や動画など、表現の幅を拡大
固定アイコン表示のみだった従来品から、用途に応じて表示内容を切り替えられる可変表示へ進化。動画の表示・操作にも対応し、空中 HMI で扱えるコンテンツの幅を広げます。

・「見る・操作する」から「感じる」へ。空中で“押した感覚”まで再現
空気流によるハプティクス技術を融合し、空中のアイコンを操作した際に指先へ触感を付与。画面やスイッチに触れることなく押した実感が得られる、新たな操作体験を検討しています。

今後の展望

ステルス空中インターフェースは、触れずに操作できる衛生・安全性、使用しない時は意匠(ウッド・金属等)の中に隠せるデザイン性、利用シーンに応じて表示・操作をカスタマイズできる特長を生かし、今後はスマートホームをはじめとする住宅設備、ゲーミング PC やスマートフォン向けガジェット、アミューズメント、集客用途などへの提案を進めます。
また、社会実装に向けたコスト低減と安定調達に向け、従来は外部調達していた高価な光学部材を、アルプスアルパインの加飾印刷技術を応用して内製化。量産に向けた開発を進めています。
アルプスアルパインは今後も、空中表示、非接触操作、触感などの技術を進化させ、触れずに直感的に操作できる新たな HMI 体験を、さまざまな生活空間へ広げていきます。





＜お問い合わせ先＞
アルプスアルパイン株式会社コーポレートコミュニケーション部 PR 課
電話 050-3613-1581（部門直通）
E-mail alpsalpine-pr@alpsalpine.com